

大震災と歴史津波の痕跡をめぐる ー荒浜・蒲生干潟の今ー

□ 実施日

4月20日(土)満席御礼	5月18日(土)	6月15日(土)
--------------	----------	----------

□ 募集定員(最少催行人員) □ 旅行代金(大人お一人様)

24名	(15名)	¥6,480 (昼食代・保険料込)	☆ツアー解説員と添乗員が同行します。
-----	-------	-------------------	--------------------

◇ ツアー解説員

菅野正道(仙台市博物館) / 仙台市科学館蒲生干潟観察チーム

◇ みどころ

仙台では過去に何度も大津波の被害を受けてきましたが、このような「歴史津波」について学び理解を深めるツアーです。仙台市科学館では、今回の津波で大きな被害を受けた蒲生干潟について震災直後からその回復状況について調査を続けており、仙台市博物館では絵図などをもとに荒浜の歴史の変遷を追っています。それらの内容について、両館のスタッフがバスに同乗し現地を見学しながら解説します。

◇ 行程

[出発]	10:00 発	仙台駅西口
		▼ <バス>
		仙台市博物館の見学
		▼ <バス>
		浪分神社(車窓より) *ツアー解説員の解説を聞きながら車窓よりご覧いただけます。
		▼ <バス>
		荒浜の見学 *ツアー解説員の解説を聞きながら見学します。
		○解説員のコメント○ 歴史の底流には、人々の生活があり、それは自然との触れ合いと闘いの積み重ねとも言えます。地図を見ながら、そしてそこに暮らした人々の生活に思いをいたすと、何気ない風景も違って見えてきます。まして、変わってしまった風景は・・・。
		▼ <バス>
		昼食とキリンビール仙台工場見学(被災状況説明)
		~ キリンビアポート仙台でご昼食 ~
		▼ <バス>
		蒲生干潟の見学 *ツアー解説員の解説を聞きながら見学します。
		○解説員のコメント○ 七北田川河口に広がる蒲生干潟は、汽水と淡水が入れ替わる環境によってカニ類や魚類など多様な生物が生活し、その豊かな自然環境によって支えられていたため、震災前は東北地方有数の野鳥観察地でした。
		▼ <バス>
		仙台市科学館の見学
		▼ <バス>
[帰着・解散]	17:00 着	仙台駅西口

【お申込み・お問合せ】

宮交観光サービス(株)なかよし地球予約センター

TEL. 022-298-7765

仙台市宮城野区小田原1-2-19 (宮城県知事登録旅行業第2-311号 一般社団法人日本旅行業協会正会員)